(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3105657号
(U3105657)
(45)発行日　平成16年11月18日(2004.11.18)　(24)登録日　平成16年9月8日(2004.9.8)

(51)Int.Cl.[7]　F I
B42D 11/00　B42D 11/00 E
B42D 11/00 A

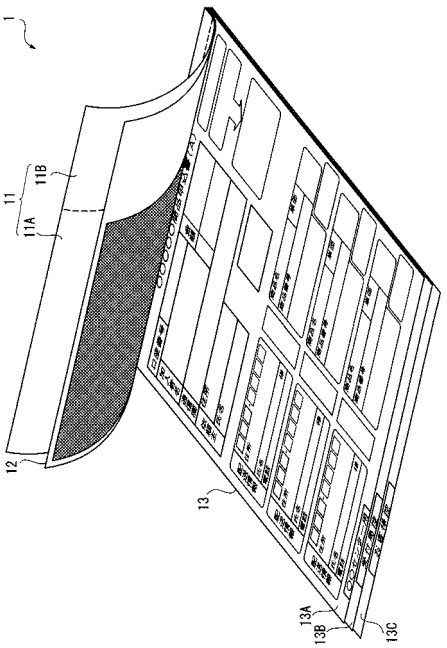
評価書の請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 10 頁）

(21)出願番号　実願2004-3153(U2004-3153)
(22)出願日　平成16年6月2日(2004.6.2)

(73)実用新案権者　396015770
株式会社郵便出版社
東京都新宿区榎町１番地
(74)代理人　100079083
弁理士　木下　實三
(74)代理人　100094075
弁理士　中山　寛二
(74)代理人　100106390
弁理士　石崎　剛
(72)考案者　高橋　省次
東京都新宿区榎町七十二番地　郵便出版社ビル　株式会社郵便出版社内

(54)【考案の名称】配送用帳票

(57)【要約】
【課題】綴じられた各用紙に容易かつ確実に転写できる配送用帳票の提供
【解決手段】配送用帳票１は、依頼主情報欄１３２、配送先情報欄１３３、および商品情報欄１３４を有する少なくとも二枚綴りの配送依頼用紙１３と、商品の代金払い込みに関する払込情報欄１１１および依頼主情報欄１１２を有する払込取扱票１１Ａ、この払込取扱票１１Ａと切り離し可能な払込金受領票１１Ｂから構成された商品代金払込用紙１１とを備え、商品代金払込用紙１１および配送依頼用紙１３は、商品代金払込用紙１１の依頼主情報欄１１２への記載事項が配送依頼用紙１３の依頼主情報欄１３２へ複写転記されるように対応させて重ねられ、かつ、互いに綴じ合わせられているとともに、商品代金払込用紙１１および配送依頼用紙１３のうち少なくとも商品代金払込用紙１１は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで４５ｋｇ以上かつ６０ｋｇ以下とされている。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
商品の配送依頼に関する依頼主情報、配送先情報、および商品情報が記載される配送用帳票であって、
依頼主の住所、氏名が記載される依頼主情報欄、
配送先の住所、氏名が記載される配送先情報欄、および、
商品名および商品番号の少なくともいずれかが記載される商品情報欄を有する少なくとも二枚綴りの配送依頼用紙と、
金融機関が取扱う前記商品の代金払い込みに関する払込情報欄、および、
依頼主の住所、氏名が記載される依頼主情報欄を有する払込取扱票、この払込取扱票と切り離し可能な払込金受領票から構成された商品代金払込用紙とを備え、
前記商品代金払込用紙および前記配送依頼用紙は、前記商品代金払込用紙の前記依頼主情報欄への記載事項が前記配送依頼用紙の前記依頼主情報欄へ複写転記されるように対応させて重ねられ、かつ、互いに綴じ合わせられているとともに、
前記商品代金払込用紙および前記配送依頼用紙のうち少なくとも前記商品代金払込用紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで４５ｋｇ以上かつ６０ｋｇ以下であることを特徴とする配送用帳票。
【請求項２】
請求項１に記載の配送用帳票において、
前記配送依頼用紙のうち少なくとも前記商品代金払込用紙の直下に重ねられている当該配送依頼用紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで３５ｋｇ以上かつ５５ｋｇ以下であることを特徴とする配送用帳票。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載の配送用帳票において、
前記配送依頼用紙のうち前記商品代金払込用紙の直下よりも下方に重ねられている当該配送依頼用紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで２８ｋｇ以上かつ４５ｋｇ以下であることを特徴とする配送用帳票。
【請求項４】
請求項１から請求項３のいずれかに記載の配送用帳票において、
前記配送依頼用紙は、少なくともいずれかが加圧に応じて発色する感圧紙であることを特徴とする配送用帳票。
【請求項５】
請求項１から請求項４のいずれかに記載の配送用帳票において、
前記商品代金払込用紙および前記配送依頼帳票の間には、片面にカーボン粒子が固定されたカーボン紙が綴じられていることを特徴とする配送用帳票。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、商品の配送依頼に関する依頼主情報、配送先情報、および商品情報が記載される配送用帳票に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来から商品の配送に関して、依頼主の控え、受付票、配送票などの用紙一式が複写転記可能に綴じられた配送用帳票が知られている。この配送用帳票は、おもての用紙に必要事項を記入すると、その下に重ねられた用紙に記入内容が転記され、一枚一枚の用紙ごとに記入する手間を省けるようになっている。
【０００３】
このような配送用帳票として、おもて側に商品の代金払込用紙を綴じ合わせたものがある。この商品代金払込用紙に依頼主の住所・氏名等を記入すると、その下に重ねられた用紙に記入内容が転記されるので、上述のように記入の手間がかからないうえ、記入内容の

不整合を防止できる。この配送用帳票のうち、商品代金払込用紙は金融機関に提出され、商品の依頼主によって代金が払い込まれる一方、金融機関の受領印が押された帳票用紙は商品の販売元に郵送される。そして、商品代金払込の確認後、当該商品が発送される。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【０００４】

しかしながら、商品代金払込用紙に筆記具などで記入する際、配送用帳票の下のほうに重ねられた用紙では筆圧が不足し、記入された内容が転記されにくいという問題があった。

従来、商品代金払込用紙には四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで７０ｋｇ程度の用紙が使用されており、例えば、この商品代金払込用紙の下側に三枚の帳票用紙が綴じられている場合、二枚目、三枚目の帳票用紙には商品代金払込用紙に記入された内容が転記されにくい。したがってすべての用紙に明瞭に転記するには、それ相応の筆圧を掛けてしっかりと記入する必要があった。

【０００５】

本考案の目的は、上記問題に鑑みて、綴じ合わせられた各用紙に容易かつ確実に複写転記できる配送用帳票を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

本考案の配送用帳票は、商品の配送依頼に関する依頼主情報、配送先情報、および商品情報が記載される配送用帳票であって、依頼主の住所、氏名が記載される依頼主情報欄、配送先の住所、氏名が記載される配送先情報欄、および、商品名および商品番号の少なくともいずれかが記載される商品情報欄を有する少なくとも二枚綴りの配送依頼用紙と、金融機関が取扱う前記商品の代金払い込みに関する払込情報欄、および、依頼主の住所、氏名が記載される依頼主情報欄を有する払込取扱票、この払込取扱票と切り離し可能な払込金受領票から構成された商品代金払込用紙とを備え、前記商品代金払込用紙および前記配送依頼用紙は、前記商品代金払込用紙の前記依頼主情報欄への記載事項が前記配送依頼用紙の前記依頼主情報欄へ複写転記されるように対応させて重ねられ、かつ、互いに綴じ合わせられているとともに、前記商品代金払込用紙および前記配送依頼用紙のうち少なくとも前記商品代金払込用紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで４５ｋｇ以上かつ６０ｋｇ以下であることを特徴とする。

ここで、商品代金払込用紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで４５ｋｇ以上かつ６０ｋｇ以下であればよいが、好ましくは同４８ｋｇ以上かつ同５８ｋｇ以下、より好ましくは同５０ｋｇ以上かつ同５５ｇ以下であるのがよい。

【０００７】

この考案によれば、少なくとも商品代金払込用紙が上述の重さであり、この重さは、従来採用されていた用紙の重さ（例えば、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで７０ｋｇ）に比べて軽くなっている。この重さに応じて、商品代金払込用紙の厚さも従来の用紙に比べて薄いものとなっている。

すなわち、この商品代金払込用紙に記入すると、その下側の配送依頼用紙（おもてから数えて一枚目）に筆圧が容易に伝わり、さらにこの配送依頼用紙を介し、二枚目以降の配送依頼用紙もこの筆圧によって十分に加圧される。このようにして、綴じ合わせられた各用紙に次々と、容易かつ確実に複写転記することができる。ひいては、転記された内容が明瞭であることから、誤配等の配送事故を防止できる。

また、このように確実に転記されるので、記入後に各用紙をめくり、十分に転記されたかどうか確認する手間をなくすことができる。

一方で、商品代金払込用紙の重さを４５ｋｇ以上とし、商品代金払込用紙はこの重さに応じた厚さであることから、装置・機械等での読み取りにも良好に対応できる。すなわち、商品代金払込用紙の記載事項を装置・機械等で読み取る際に、当該商品代金払込用紙がよれたり、巻き込まれたりする不具合が生じず、記載事項を正確に読み取ることができる

。

【０００８】

ここで、商品代金払込用紙に記入された内容のうち、少なくとも依頼主情報欄に記入された内容が配送依頼用紙の依頼主情報欄に確実に転記されるので、同じことを繰り返し記入しないで済むばかりか、商品代金払込用紙と配送依頼用紙との間で依頼主情報の整合性を確保できるという利点がある。

なお、商品代金払込用紙への記入は、筆記具などで手書きする場合に限らず、機械などで打刻印字する場合でも同様であり、配送用帳票の各用紙について容易かつ確実に複写転記できる。

さらに、配送依頼用紙は二枚綴りのほか、三枚綴り、あるいはそれ以上の枚数が綴られていてもよい。

【０００９】

本考案の配送用帳票では、配送依頼用紙のうち少なくとも商品代金払込用紙の直下に重ねられている当該配送依頼用紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで３５ｋｇ以上かつ５５ｋｇ以下であることが好ましい。

ここで、上記の配送依頼用紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで３５ｋｇ以上かつ５５ｋｇ以下であればよいが、好ましくは同３７ｋｇ以上かつ同５３ｋｇ以下、より好ましくは同３９ｋｇ以上かつ同５１ｋｇ以下であるのがよい。

この考案によれば、商品代金払込用紙だけでなく、その直下に重ねられた配送依頼用紙も上述の重さに応じた厚さであるため、これらの商品代金払込用紙および配送依頼用紙を介し、さらに下側に重ねられた配送依頼用紙に対しても、おもて側からの筆圧が一層届きやすくなる。これにより、配送用帳票の下のほうに重ねられた用紙にまで一層容易に、より確実に複写転記できる。

なお、「直下に重ねられている」とは、商品代金払込用紙と配送依頼用紙との間に薄紙やフィルム等が挟まれている状態も含まれる。この状態でも、商品代金払込用紙に記入され、一枚目の配送依頼用紙に転記された内容を、二枚目以降の配送依頼用紙に容易かつ確実に転記できる。

【００１０】

本考案の配送用帳票では、前記配送依頼用紙のうち前記商品代金払込用紙の直下よりも下方に重ねられている当該配送依頼用紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで２８ｋｇ以上かつ４５ｋｇ以下であることが好ましい。

ここで、上記の配送依頼用紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで２８ｋｇ以上かつ４５ｋｇ以下であればよいが、好ましくは同３０ｋｇ以上かつ同４０ｋｇ以下、より好ましくは同３２ｋｇ以上かつ同３８ｋｇ以下であるのがよい。

この考案によれば、配送用帳票において裏側に位置し、おもて側からの筆圧が届きにくい配送依頼用紙が上述の重さに応じた厚さであるため、配送依頼用紙それぞれについて、より確実に複写転記できる。

【００１１】

本考案の配送用帳票では、配送依頼用紙は、少なくともいずれかが加圧に応じて発色する感圧紙であることが好ましい。

この考案によれば、感圧紙の採用によって、配送依頼用紙自体が複写転記手段を備えることになる。つまり、他の複写転記手段が不要となり、配送用帳票が全体的にかさ張らない。

【００１２】

本考案の配送用帳票では、商品代金払込用紙および配送依頼帳票の間には、片面にカーボン粒子が固定されたカーボン紙が綴じられていることが好ましい。

この考案によれば、複写転記手段としてカーボン紙が採用されているため、商品代金払込用紙や配送依頼用紙を感圧紙などの特殊な用紙にする必要がない。したがって、これら商品代金払込用紙や配送依頼用紙が読み取り装置などで処理される場合でも、感圧紙表層の薬品の関係で不具合が生じるようなことがない。

【考案を実施するための最良の形態】

【００１３】

以下、本考案の実施の一実施形態を図面に基づいて説明する。

図１は、配送用帳票１をおもて側から見た図であり、図２は、配送用帳票１の側面図である。

この配送用帳票１は、おもてから順番に、商品代金払込用紙１１、カーボン紙１２、三枚の配送依頼用紙１３を備え、商品の注文および配送申し込みに使用される。これらの商品代金払込用紙１１、カーボン紙１２、および配送依頼用紙１３は、それぞれの上端が揃えられ糊付けされて、ひとつに綴じ合わせられている。

なお、この配送用帳票１で注文される商品は、図示を省略するが、別添えのカタログ、チラシ、パンフレット等に記載された各種の商品から選択される。

【００１４】

図３には、商品代金払込用紙１１が示されている。

商品代金払込用紙１１は、ミシン目で互いに切り離し可能な払込取扱票１１Ａと払込金受領票１１Ｂとを有し、郵便局、銀行などの金融機関が取扱できる形式に構成されている。また、商品代金払込用紙１１の紙は、四六判（７８８ｍｍ×１，０９１ｍｍ）の大きさでかつ１０００枚の重さで例えば５５ｋｇであり、これは上質紙の厚さに換算すると約０．０８ｍｍに相当し、従来使用されていた用紙が例えば同約７０ｋｇ、同０．１０ｍｍであるとすると二割程度も薄くなっている。なお、商品代金払込用紙１１の重さは同４５ｋｇ～同６０ｋｇの範囲で設定できるが、同４８ｋｇ～同５８ｋｇの範囲が好ましく、さらに、同５０ｋｇ～同５５ｋｇの範囲とするのがより好ましい。

払込取扱票１１Ａは、払込情報欄１１１と依頼主情報欄１１２とを有する。

払込情報欄１１１は、口座番号欄１１１Ａ、加入者名欄１１１Ｂ、および払込金額欄１１１Ｃの各欄を含んで構成されている。このうち口座番号欄１１１Ａ、加入者名欄１１１Ｂには、あらかじめ、商品の販売者に応じた口座番号、加入者名が印字されているが、払込金額欄１１１Ｃには、注文する商品の合計金額が払込人において記入される。

また、依頼主情報欄１１２は、住所欄、氏名欄から構成され、払込人である商品配送の依頼主の住所、氏名が記入される。

【００１５】

一方、払込金受領票１１Ｂは、商品代金払い込みの際、依頼主に渡される受領証であり、払込情報欄１１１と依頼主情報欄１１２とを有する。

これら払込情報欄１１１および依頼主情報欄１１２には、払込取扱票１１Ａの払込情報欄１１１および依頼主情報欄１１２とそれぞれ同様の内容が記載される。

【００１６】

カーボン紙１２は、図１に示すように、薄紙の片面にカーボン粒子が固定されたもので、商品代金払込用紙１１と略同様の大きさに形成されている。このカーボン紙１２は、カーボンが商品代金払込用紙１１の依頼主情報欄１１２および払込金額欄１１１Ｃに応じた位置に固定され、カーボン面が裏側となるように、商品代金払込用紙１１と配送依頼用紙１３との間に挟まれている。

【００１７】

図４には、配送依頼用紙１３が示されている。

この配送依頼用紙１３は、おもてから順番に、受注用１３Ａ，金融機関控１３Ｂ，お客様控１３Ｃの三枚綴りとなっている。

受注用１３Ａは、用紙の上部に払込情報欄１３１と依頼主情報欄１３２とを有し、その下側には、互いに隣り合うように段組された配送先情報欄１３３と商品情報欄１３４とを有している。この段組が繰り返されることで配送先情報欄１３３および商品情報欄１３４は三つずつ形成されており、用紙全体が縦長に形成されている。

払込情報欄１３１は、商品代金払込用紙１１の払込情報欄１１１に対応している。すなわち、払込情報欄１３１は、口座番号欄１３１Ａ、加入者名欄１３１Ｂ、および払込金額欄１３１Ｃの各欄から構成されており、これらの各欄は、商品代金払込用紙１１の口座番

号欄１１１Ａ、加入者名欄１１１Ｂ、および払込金額欄１１１Ｃにそれぞれ対応している。また、払込情報欄１１１と同様に、口座番号欄１３１Ａ、加入者名欄１３１Ｂには予め商品販売者に応じた情報が印字されている。

依頼主情報欄１３２は、商品代金払込用紙１１の依頼主情報欄１１２に対応している。すなわち、依頼主情報欄１３２は住所欄、氏名欄から構成され、商品配送を依頼する依頼主の情報が記入される。

【００１８】

そして、配送先情報欄１３３は住所欄、氏名欄等から構成され、商品の配送先の情報が記入される。

また、商品情報欄１３４は、商品名、商品番号、個数、単価等の各欄から構成され、配送先情報欄１３３に記入された配送先に届けられる商品について記入される。これらの配送先情報欄１３３および商品情報欄１３４は上述のように複数設けられており、配送先ごとに商品を指定できる。

この商品情報欄１３４の構成については、各種のバリエーションが考えられる、例えば、ギフト包装の指定、のし書きの選択、商品への名入れ、依頼主へのお届け通知の要／不要、発送希望時期などについて、適宜、欄を設けることができる。

【００１９】

金融機関控１３Ｂ，お客様控１３Ｃは、上述の受注用１３Ａと内容が共通し、受注用１３Ａと同様に、払込情報欄１３１、依頼主情報欄１３２、配送先情報欄１３３および商品情報欄１３４を三つずつ有している。また、金融機関控１３Ｂおよびお客様控１３Ｃの下端の位置は、それぞれが表から見えるように互いにずれており、確認しやすく捲り易いようになっている。

以上説明した受注用１３Ａ、金融機関控１３Ｂ，お客様控１３Ｃには、感圧紙が採用されている。つまり、受注用１３Ａ、金融機関控１３Ｂ，お客様控１３Ｃの重なりに応じて二種類の薬品が塗布されており、これらの薬品が加圧されて互いに接触することで発色する。ここで、受注用１３Ａに採用された感圧紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで例えば４３ｋｇであり、金融機関控１３Ｂ，お客様控１３Ｃに採用された感圧紙は、四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで例えば３４ｋｇであり、配送用帳票１全体として薄く、かさ張らない。なお、受注用１３Ａの重さは同３５ｋｇ～同５５ｋｇの範囲内で設定できるが、好ましくは同３７ｋｇ～同５３ｋｇ、より好ましくは同３９ｋｇ～同５１ｋｇとするのがよい。また、金融機関控１３Ｂ，お客様控１３Ｃの重さは同２８ｋｇ～同４０ｋｇの範囲内で設定できるが、好ましくは同３０ｋｇ～同４０ｋｇ、より好ましくは同３２ｋｇ～同３８ｋｇとするのがよい。

【００２０】

以下、配送用帳票１の使用について説明する。

この配送用帳票１は、ここでは、郵便局などに商品のパンフレット（図示省略）とともに置かれている。このパンフレットから注文する商品を選び、この配送用帳票１を使用して、商品の注文および配送依頼を行うことができる。

【００２１】

まず、商品代金払込用紙１１には、商品を注文・配送依頼する依頼主の住所、氏名を依頼主情報欄１１２に記入する。

ここで、商品代金払込用紙１１の厚さに関し、上述のように四六判の大きさでかつ１０００枚の重さで５５ｋｇに応じた薄さなので、記入の際の筆圧がカーボン紙１２を通して受注用１３Ａに無理なく容易に伝わる。さらに、配送依頼用紙１３の三枚の厚さに関し、受注用１３Ａは四六判の大きさでかつ１０００枚の重さ４３ｋｇに応じた薄さであり、金融機関控１３Ｂ、お客様控１３Ｃは四六判の大きさでかつ１０００枚の重さ３４ｋｇに応じた薄さであるため、商品代金払込用紙１１に加えられた筆圧が受注用１３Ａ、金融機関控１３Ｂ、お客様控１３Ｃにも一層容易に伝わり、無理な筆圧をかけて記入しなくても、これら受注用１３Ａ、金融機関控１３Ｂ、お客様控１３Ｃでの筆圧がそれぞれ十分なものとなる。

したがって、商品代金払込用紙１１に記入された内容がカーボン紙１２を介して受注用１３Ａに確実に転記されるとともに、受注用１３Ａと金融機関控１３Ｂとの間の薬品層、および、金融機関控１３Ｂとお客様控１３Ｃとの間の薬品層を介し、受注用１３Ａ、金融機関控１３Ｂ、お客様控１３Ｃにも次々に、確実明瞭に複写転記される。

【００２２】

次に、配送依頼用紙１３に必要事項を記入するが、この配送依頼用紙１３の受注用１３Ａ、金融機関控１３Ｂ、お客様控１３Ｃの各票には、既に、商品代金払込用紙１１の依頼主情報欄１１２に記入された住所、氏名等が依頼主情報欄１３２にそれぞれ転記されており、同じ内容を繰り返し記入しないで済む。つまり、記入ミスも起こらず、商品代金払込用紙１１と配送依頼用紙１３の三枚との間で依頼主情報の整合性を確保できる。

したがって、配送依頼用紙１３には、配送先情報欄１３３および商品情報欄１３４のみに記入すればよい。また、配送依頼用紙１３は感圧紙で構成されているから、一枚目の受注用１３Ａに記入すればよい。

【００２３】

具体的に、配送先情報欄１３３には、商品の届け先となる住所、氏名等（依頼主の住所、氏名であってもよい）を記入し、商品情報欄１３４には、パンフレットに記載された商品名や商品番号、注文する個数、単価等を記入していく。

この際、注文した商品を複数の届け先に配送したい場合は、配送先情報欄１３３ごとに届け先の住所、氏名等を記入し、配送先情報欄１３３と隣り合う商品情報欄１３４に商品情報を記入できる。

ここで、先と同様、配送依頼用紙１３の紙の厚さが上述のような薄さであるため、受注用１３Ａに加えられた筆圧が金融機関控１３Ｂ、お客様控１３Ｃにもそのまま伝わり、受注用１３Ａ、金融機関控１３Ｂ、お客様控１３Ｃにも次々に、確実明瞭に複写転記される。

そして、商品情報欄１３４に記入された商品の個数、単価から配送依頼用紙１３全体での合計金額を求め、この合計金額を商品代金払込用紙１１の払込金額欄１１１Ｃに記入する。この際も、前述のように、配送依頼用紙１３の払込金額欄１３１Ｃに合計金額を容易かつ確実に転記できる。

以上のように、配送用帳票１に記入された内容はすべて確実に複写転記されるため、記入後に各用紙をめくり、十分に転記されたかどうか確認する必要がなく、転記内容が判読できずに誤配が生じてしまうこともない。

【００２４】

このように記入が済んだ配送用帳票１を金融機関（ここでは郵便局）の窓口に提出し、商品代金の払込を行なう。この際、一番上の商品代金払込用紙１１がめくり取られ、読み取り装置に挿入され、払込情報欄１１１に記載された加入者の口座番号に商品代金が払い込まれる。ここで、商品代金払込用紙１１は感圧紙ではないため、読み取り装置に感圧紙の薬品等が付着せず、また、商品代金払込用紙１１の厚さに関し、四六判の大きさでかつ１０００枚で５５ｋｇに応じた厚さというのは、読み取り装置でよれて詰まったりしないから、円滑に処理できる。

この払込が済むと、商品代金払込用紙１１および配送依頼用紙１３の各用紙に郵便局の受領日付印が押され、このうち金融機関控１３Ｂは郵便局用として保管される。

そして、払込人である商品配送の依頼主には、払込取扱票１１Ａと切り離された払込金受領票１１Ｂが渡されるとともに、受注用１３Ａおよびお客様控１３Ｃが返却される。依頼主は、お客様控１３Ｃを手元に残し、先ほど払い込んだ口座の加入者である商品販売者に宛てて、受注用１３Ａを郵送する。

【００２５】

商品の販売者は、この受注用１３Ａを受け取ると、払込情報欄１３１、依頼主情報欄１３２、配送先情報欄１３３、および商品情報欄１３４に記載された内容をコンピュータに取り込み、注文された商品の処理を開始する。

払込情報欄１３１の払込金額欄１３１Ｃの商品代金が払込済みであることが確認される

と、配送先情報欄１３３に記入された宛先ごとに、商品情報欄１３４に記入された商品が手配され、出荷センターから順次商品が発送される。

【００２６】

本考案は、前述の各実施形態に限定されるものではなく、以下に示すような変形をも含むものである。

前記実施形態で示した商品代金払込用紙１１や配送依頼用紙１３に設けられた各欄の構成や数、記載事項は、あくまで例示であり、他にも各種の構成を採用できる。各欄の形式や見出しを変更したり、配置を上下左右に交換したりしても勿論構わない。

また例えば、商品の販売者が発行する配送用帳票に一意の整理番号をあらかじめ印字しておけば、この整理番号を注文管理に好適に使用できる。さらに、商品代金払込用紙に商品情報欄を設け、注文する商品の情報を商品代金払込用紙に持たせることもできる。

さらに、配送依頼用紙の配送先情報欄および商品情報欄は、前記実施形態のように段組されていなくてもよく、また、配送先情報欄と商品情報欄との対応は１：１に限らず、１：ｎとすることもできる。

【００２７】

前記実施形態では、配送依頼用紙１３は商品代金払込用紙１１よりも薄く作られていたが、配送依頼用紙はこのような厚さでなくてもよく、たとえ、商品代金払込用紙よりも厚くても構わない。肝要なのは筆記具などで直接記入される商品代金払込用紙の厚みであり、この商品代金払込用紙が前記実施形態で例示した範囲内の重さに応じた厚みであれば、おもて側からの筆圧が裏側の用紙に届きやすく、記入された内容が十分に複写転記されることに変わりはない。

【００２８】

また、商品代金払込用紙１１と配送依頼用紙１３との間の複写転記手段は、前記実施形態のようにカーボン紙１２である必要はなく、商品代金払込用紙１１と配送依頼用紙１３とが重なり合う面に薬品が塗布された感圧紙としてもよい。

一方、配送依頼用紙は感圧紙とする必要はなく、前記実施形態の受注用１３Ａ、金融機関控１３Ｂ、お客様控１３Ｃの間にそれぞれカーボン紙を綴じ合わせてもよい。

そして、商品代金払込用紙や配送依頼用紙には、手書きで記入してもよいが、印字装置などで必要事項を打刻印字してもよい。

【００２９】

本考案を実施するための最良の構成、方法などは、以上の記載で開示されているが、本考案は、これに限定されるものではない。すなわち、本考案は、主に特定の実施形態に関して特に図示され、かつ、説明されているが、本考案の技術的思想および目的の範囲から逸脱することなく、以上述べた実施形態に対し、形状、材質、数量、その他の詳細な構成において、当業者が様々な変形を加えることができるものである。

したがって、上記に開示した形状、材質などを限定した記載は、本考案の理解を容易にするために例示的に記載したものであり、本考案を限定するものではないから、それらの形状、材質などの限定の一部もしくは全部の限定を外した部材の名称での記載は、本考案に含まれるものである。

【産業上の利用可能性】

【００３０】

本考案は、カタログ販売、ギフト配送などの配送用帳票として利用できるほか、宅配便の帳票など、複数枚の各用紙に転写が必要となる各種の帳票として構成し、利用することができる。

また、配送する商品は、カタログ、チラシ、パンフレットなどの紙媒体に限らず、電話、ＦＡＸやインターネットなどの通信を介して選択できる。

【図面の簡単な説明】

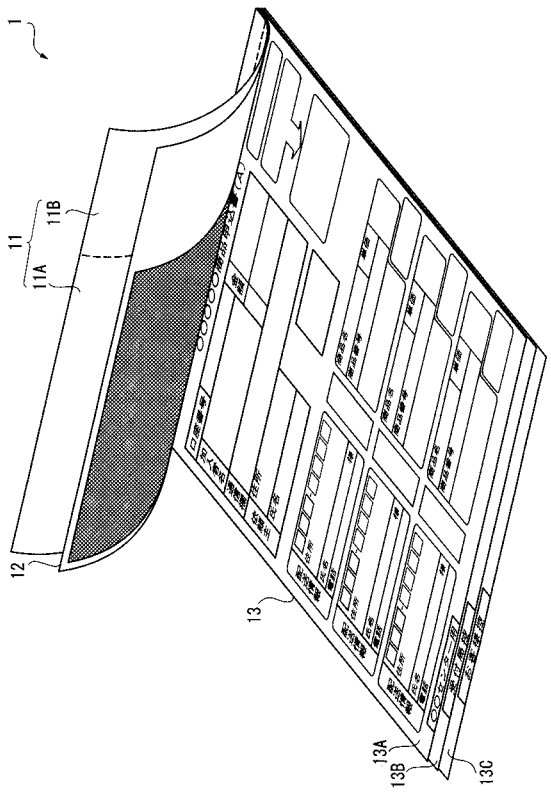
【００３１】

【図１】本考案の一の実施形態に係る配送用帳票を示す斜視図。

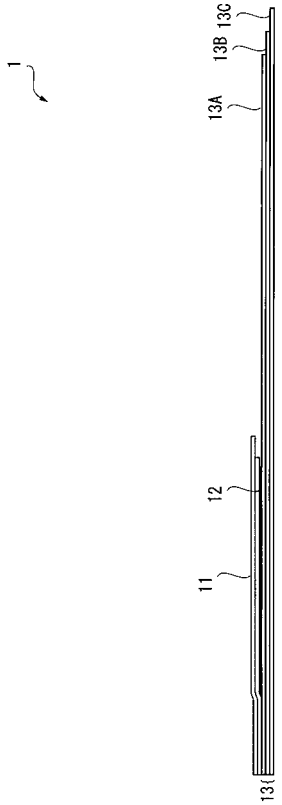
【図２】前記実施形態に係る配送用帳票の側面図。

【図３】前記実施形態における商品代金払込用紙を示す平面図。
【図４】前記実施形態における配送依頼用紙を示す平面図。
【符号の説明】
【００３２】
１・・・・配送用帳票
１１・・・商品代金払込用紙
１１Ａ・・払込取扱票
１１Ｂ・・払込金受領票
１２・・・カーボン紙
１３・・・配送依頼用紙
１１１・・払込情報欄
１１２・・依頼主情報欄
１３１・・払込情報欄
１３２・・依頼主情報欄
１３３・・配送先情報欄
１３４・・商品情報欄

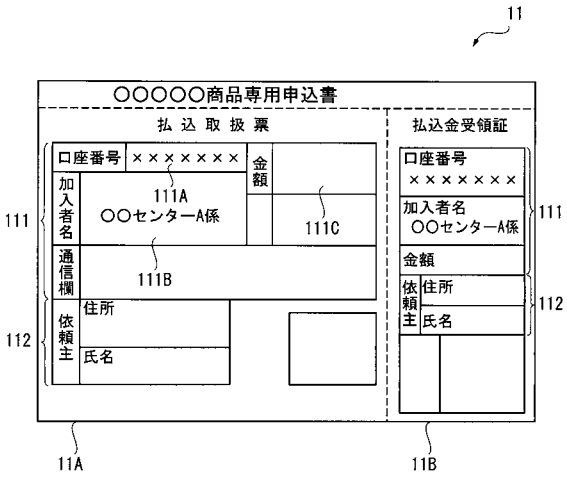
【図１】



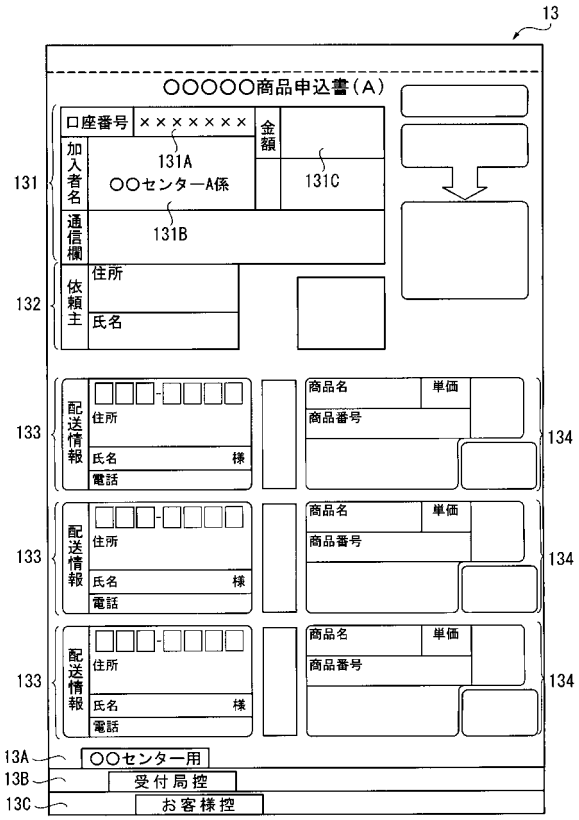
【図２】



【図３】


11
○○○○○商品専用申込書
払込取扱票
口座番号
××××××
金額
111A
○○センターA係
111C
111
加入者名
通信欄
111B
依頼主
住所
氏名
112
払込金受領証
口座番号
××××××
加入者名
○○センターA係
金額
依頼主
住所
氏名
111
112
11A
11B

【図４】


13
○○○○○商品申込書(A)
口座番号
××××××
金額
131A
○○センターA係
131C
131
加入者名
通信欄
131B
依頼主
住所
氏名
132
配送情報
住所
氏名
様
電話
133
商品名
単価
商品番号
134
13A
○○センター用
13B
受付局控
13C
お客様控